

平成 25 年度 事業報告書

社会福祉法人 敬仁会

鶴ヶ丘苑

かいふう

デイサービスセンター鶴ヶ丘

在宅介護支援センター鶴ヶ丘

居宅介護支援事業在宅介護支援センター鶴ヶ丘

ケアハウス鶴ヶ丘

目 次

I	本部	1
II	鶴ヶ丘苑	2
III	かいふう	19
IV	デイサービスセンター鶴ヶ丘	31
V	在宅介護支援センター鶴ヶ丘	35
VI	居宅介護支援事業在宅介護支援センター鶴ヶ丘	37
VII	ケアハウス鶴ヶ丘	39

I 本 部

◎ 法令遵守と業務の適正遂行

- ・ 新採用職員研修を含め、全職員への法令遵守の徹底を職員会議等、機会ある毎に図った。
- ・ 業務管理体制の整備及び規程の制定は次年度となった。

◎ 利用者の満足感の向上を図る。

- ・ 福祉サービス第三者評価基準による自己評価は行うことが出来なかったが、利用者への苦情窓口の周知、意見箱の確認、回答を要するものへの迅速な回答はきちんと行われていた。

◎ 介護サービス内容等の公表

- ・ 情報公表の都度、マニュアルの整合は確実に行われていた。更に平成 26 年 3 月には、全国上部団体 HP に登録し、インターネット上での公開を行った。

◎ 防災対策の確立を図る。

- ・ 災害時のマニュアル（鶴ヶ丘苑）を定め、防災対策委員会を置き、この委員会の備蓄班では、必要な物資の備蓄を行い、点検整備に努めている。

《理事会開催状況》

	開催日	参加人数（理事 10 名 監事 2 名）	開催場所
第 1 回	平成 25 年 5 月 20 日	理事 8 名 監事 2 名	炉端焼居酒屋 水里園
第 2 回	平成 25 年 7 月 29 日	理事 10 名 監事 1 名	社団法人慈恵会 6 階会議室
第 3 回	平成 25 年 9 月 24 日	理事 10 名 監事 2 名	〃
第 4 回	平成 25 年 10 月 28 日	理事 8 名 監事 2 名	〃
第 5 回	平成 25 年 11 月 18 日	理事 10 名 監事 0 名	〃
第 6 回	平成 26 年 3 月 31 日	理事 8 名 監事 1 名	〃

《評議員会開催状況》

	開催日	参加人数（総数 21 名）	開催場所
第 1 回	平成 25 年 5 月 20 日	17 名	炉端焼居酒屋 水里園
第 2 回	平成 25 年 7 月 29 日	21 名	社団法人慈恵会 6 階会議室
第 3 回	平成 25 年 9 月 24 日	17 名	〃
第 4 回	平成 25 年 10 月 28 日	18 名	〃
第 5 回	平成 25 年 11 月 18 日	20 名	〃
第 6 回	平成 26 年 3 月 31 日	16 名	〃

Ⅱ 鶴ヶ丘苑

- (1) システムにより記録の統一を図り、一部統計を活用することができた。
- (2) 感染症予防の勉強会を実施。感染予防対策を徹底したため、感染症の発生はなかった。
- (3) 緊急でのショートステイに長期入所の空床利用で対応したことで、稼働率向上につながった。

《全体》

◎経営状態の認識共有化

稼働率・収支概況について、連絡会議・職員会議等で毎月情報提供を行い、経営状態認識共有化に努めた。

《総務》

◎人事・労務管理の徹底

規程改正の報告のほか、労使協定を掲示することにより職員への周知徹底を図った。

職 員 構 成 表

H26.3.31現在

職 種	常勤	非常勤		常勤	非常勤	職務内容
施 設 長	1		男 女	1		施設を管理統括する。
医 師（嘱 託）		1	男 女		1	施設内診療所を管理し、週1回以上利用者の診療をする。
事 務 長	1		男 女	1		事務部門の一切の業務を統括する。
看護介護部長	1		男 女	1		看護・介護部門の一切の業務を統括する。
生活相談員	1		男 女	1		利用者の心身の状況・置かれている状況の把握・必要な援助を行なう。
介護支援専門員	2		男 女	2		施設サービス計画の作成。適切なサービスが利用できるように連絡調整を行う。
事 務 員	4		男 女	2 2		経理・総務等事務処理を行う。
機能訓練指導員	1		男 女	1		日常生活を営むのに必要な機能を改善し減退を防止するための訓練を行う。
看 護 職 員	2	2	男 女	2	2	利用者の健康保持。医師の指示に従い疾病者の看護等を行う。
介 護 職 員	42		男 女	18 24		個々の施設サービス計画書に基づき、介護サービスを提供する。
管 理 栄 養 士	1		男 女	1		献立作成・栄養摂取量の計算等や給食業務全般の管理に当たる。
そ の 他	3	4	男 女	3 2	2	清掃・営繕・燃料の管理・雑作業・宿直業務等を行う。
総 数	59	7	男 女	25 33	3 4	

《経理》

◎経費削減

- ・稼働率、支出経費等、経営分析資料計数に基づき、施設連絡会議・職員会議等でコスト削減努力を要請した。
- ・水光熱費の削減を図るべく、LED 照明器具設置による節電、ボイラーのタイマー設定及び床暖房の温度管理等のコスト削減努力により、燃料代・電気料は、合計では予算額を下回った。

《管理》

◎ 非常災害に備えた体制の確立

- ・年2回の避難訓練、消防設備の点検を実施した。

◎ 車両の効率的運用

- ・車両点検管理表の一部を改正し、点検・整備の充実を図った。
- ・安全運転ののぼり旗を掲げ、意識の高揚を図った。

◎経年に伴う保守管理立ち会い、チェックの励行

- ・安心・安全の確保のため、保守点検の管理と設備改修箇所の確認の励行に努めた。

施設管理実施状況

実施月	実施内容	
4月	ボイラー・貯水槽・貯湯槽清掃、消毒・点検	水質検査 害虫駆除 レジオネラ検査
5月		
6月	消防設備点検 ※避難訓練…総合訓練(ボイラー室出火想定)	ばい煙測定
7月	自動ドア点検	
8月		
9月		
10月	館内電気設備一斉点検 消防設備点検 ※避難訓練…夜間想定(ボイラー室出火想定) 床暖房・ボイラー・ポンプ点検	レジオネラ検査 害虫駆除 水質検査 浄化槽法定検査
11月		
12月		ばい煙測定
1月	自動ドア点検	

※ 毎月実施・・・浄化槽点検、電気設備点検

※ 偶数月実施・・・害虫調査

《介護支援専門員》

◎ 要介護認定に係わる援助

- ・ 要介護認定の有効期間に合わせ、介護保険の更新申請手続きを行い、介護保険被保険者証の管理を行った。
市より依頼を受け、当苑・他施設利用者の認定調査を行った。当苑利用者の訪問調査依頼は、調査に立ち会い日常生活・健康状態等の説明を行った。

◎ 施設サービス計画書の作成

- ・ 本人の意向を確認できないケースが多いため、入苑時や家族面会時に意向の確認を行うよう努めた。面会状況により家族へ確認できない場合や家族へ確認できても施設に任せるという場合は、担当者の思いや意向を踏まえ短期目標や長期目標を設定し、計画を作成した。計画作成後は評価を基に、ケアプランの実施状況の確認・効果測定、利用者自身の環境の変化の有無・変化がもたらす影響の確認、ケアプラン見直しの要否の判断に努めた。

◎ 入苑申込書に係る援助

- ・ 施設入所の問い合わせや相談、申し込みに応じ、施設の概要や料金等について説明した。入苑申込者のデータを表にまとめ管理し、緊急性が高い・当苑への入所が必要と判断した場合は、入所判定会議を開催し、家族や各事業所の担当者と連絡調整し、入所へつなげた。

《生活相談員》

◎ 利用者の心身の状況、置かれている環境等の的確な把握

- ・ 利用者の重度化に伴い、利用者本人はもちろん、各部署、ご家族との連絡調整に努めた。特に、面会時のご家族とのコミュニケーションを重視することで「ご家族の思い」を引出し、利用者への対応に繋げるよう意識した。

◎ 長期入苑契約

- ・ 新生活への移行に対する利用者・ご家族の負担を少しでも和らげること、そして気になる点を遠慮せずに質問できる雰囲気作りを心掛けた。

◎ ショートステイ利用者の受入れ、継続利用

- ・ 前年と比べ利用者数は増加した。また、緊急での利用依頼も増え、入院者のベッドを活用させていただく「空床利用」対応も行った。ショートステイへの地域ニーズが高まっている事を実感した。

◎ 実習生の受入れ

- ・ 昨年同様、介護福祉士養成校のみならず各方面からの実習を受け入れした。新たに、介護職員実務者研修課程からの受け入れも行い、人材育成の重要性を再確認した。

利用者在苑期間調

H26.3.31現在

範囲 性別	1年未満	1年～ 3年未満	3年～ 5年未満	5年～ 10年未満	10年～ 15年未満	15年～ 20年未満	20年以上	計
男	5	3	2	2	1	0	0	13
女	17	25	17	9	7	2	0	77
計	22	28	19	11	8	2	0	90

平均在苑期間 3年 8ヶ月
 男 3年 2ヶ月
 女 3年 9ヶ月
 最長在苑期間 男 12年 0ヶ月
 女 19年 11ヶ月

利用者年齢階層調

平均年齢 87.3 歳
 平均年齢 男子 78.3 歳 最高 92 歳 最低 55 歳
 女子 88.8 歳 最高 102 歳 最低 60 歳

H26.3.31現在

年齢階層	性別人数		比率		計	
	男・人	比率	女・人	比率	計・人	比率
65歳未満	2	15.0	1	1.5	3	3.3
65～69歳	0	0.0	0	0.0	0	0.0
70～74歳	1	8.0	1	1.5	2	2.2
75～79歳	3	24.0	11	15.0	14	15.6
80～84歳	4	30.0	14	18.0	18	20.0
85～89歳	2	15.0	18	23.0	20	22.2
90～94歳	1	8.0	26	33.0	27	30.0
95～99歳	0	0.0	5	6.5	5	5.6
100歳以上	0	0.0	1	1.5	1	1.1
合計	13 人	100 %	77 人	100 %	90 人	100 %

施設利用状況

自 H25.4.1～至 H26.3.31

事項		市町村		青	三	弘	今	合	
		森	沢	前	別	計			
本 年 度 中	入所人員	男	6					6	退所人員 24人 家庭内復帰 0人 他施設へ 0人 長期入院 8人 死亡退所 16人 入院中 16人 施設内 0人
		女	16	1		1	18		
		計	22	1	0	1	24		
	退所人員	男	6				6		
		女	17		1		18		
		計	23	0	1	0	24		
	死亡人員	男	4				4		
		女	12				12		
		計	16	0	0	0	16		

面会状況調

自 H25.4.1～至 H26.3.31

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
372	426	425	453	506	409	400	372	404	407	267	20	4,461

利用者介護度平均

H26.3.31現在

介護度	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	平均
人数	0	3	4	37	46	4.40

ショートステイ利用状況

自 H25.4.1～至 H26.3.31

利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用者数	35	33	33	32	32	33	31	32	35	33	28	33	390
理由	社会的	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	私的	35	33	33	32	32	33	31	32	35	33	27	33
送迎回数	79	80	80	79	96	86	96	89	90	80	80	86	1,021

利用延べ人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
内訳	介護保険	269	279	298	287	297	277	296	271	297	299	273	291	3,434
	委託	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	0	10
総利用延べ人数	269	279	298	287	297	277	296	271	297	299	283	291	3,444	

平均利用人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
1日平均利用者数	9.0	9.0	9.9	9.3	9.6	9.2	9.5	9.0	9.6	9.6	9.8	9.4	9.4

《看護》

◎ 感染予防対策強化

- ・ 利用者、職員の季節性インフルエンザ混合ワクチン予防接種を実施し、玄関にインフルエンザ予防のポスターを掲示することで、面会者・各事業者等に予防を徹底し、利用者の感染はなかった。
- ・ 3ヶ月に1回及び随時、感染予防対策委員会にて、その時期に流行る感染症の予防対策を周知徹底した。
- ・ 感染が予測される時は速やかに感染予防対策を講じ、嘱託医への報告と早めの応対にて感染症の蔓延はなかった。
- ・ 他施設での感染症発生の情報が速やかに得られるよう居宅、在介との連絡を密にし協力を得、当施設での対応を検討した。
- ・ 感染症対策研修への参加
- ・ 医療廃棄物の分別を実施している。
- ・ 痰吸引資格保持職員へ個別に痰吸引の指導講習を実施した。
- ・ 年2回感染症の勉強会を実施した。

◎ 健康づくり対策

- ・ 6月 利用者の結核健診実施(感染者なし)
- ・ 週2回・随時嘱託医が来苑し、健康管理を行っている。
- ・ 利用者の状態に応じ、嘱託医へ状態報告し、健康上の変化に早期に対応して、家族へ報告している。
- ・ 家族に代わり通院介助を実施
- ・ 月1回の採血を実施。嘱託医に結果報告し、異常時の早期対応に努めた。

◎ 看護知識・技術・質の向上に努め、利用者へ添った看護サービスを提供する。

- ・ 外部研修や苑内の勉強会を通して知識の共有ができた。
- ・ 事業所内での会議やカンファレンスによる情報の共有化を行い、他職種との連携を図ることができた。
- ・ 火曜日又は随時歯科訪問診療を実施した。

月別入院状況集計表

	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
入院日数	0	12	21	16	19	54	30	56	29	49	30	61	38	9	30	73	21	129	11	169	1	90	31	59	261	777
合計	12		37		73		86		78		91		47		103		150		180		91		90		1,038	
入院人数	0	2	1	2	1	4	1	4	1	4	1	5	2	1	1	4	2	11	1	9	1	5	1	4	13	55
合計	2		3		5		5		5		6		3		5		13		10		6		5		68	

月別褥瘡処置集計表

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
処置人数	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	25

※月1回褥瘡委員会を開催。処置者の検証を行う。

結核検診結果報告

平成25年6月26日 利用者85名の胸部レントゲンを実施した。(5名入院中)
精密検査を勧められた利用者の再検査を実施した結果、結核に感染している利用者はいなかった。

結核検診にて異常なし	65名
要精密検査者	20名
計	85名

《要精密検査》

異常なし	観察不要	7名
他疾患あり	治療観察中	12名
合計		19名

*1名は検査前に死亡

《介護》

介護技術向上のため、内部評価者（アセッサー）研修に参加するなどし、介護職員の意欲向上・スキルアップに努めた。

① ショート班

- ・ 家族の情報交換書を元に苑での対応の仕方など、その都度話し合い、利用者の身体観察や課題等にも目を配り、状態変化時には医務、相談員へ報告し対応した。
- ・ 生活リハビリの視点で、できる事は自力で行ってもらっていたが、自信に繋げるという取り組みが不足していた。自ら意欲的に行う利用者は少ないため、意欲に繋がるような声掛け、関わり方を工夫し参加意欲を高めていきたい。
- ・ ショートルームを活用し、会話をしながら個別に作品作り、習字、ゲーム等を行っていた。後半は2班と合同の余暇となり、利用者全体（団体）の余暇に参加し楽しんでいただいていたが、入退苑の対応に時間を要し、余暇が行えない時もあった為、少しの時間でも利用者に関わる時間を意識し個別や体操等行っていきたい。

② 1班

- ・ 危険を予測し、手の位置・姿勢等、注意・工夫し大きな事故には繋がらなかったが、まだ一人ひとりの意識・気付きが足りず、皮下出血が見られたこともあった。
- ・ 普段の声掛けや関わりから観察し、その人の反応の変化・思いに気づくまでは出来なかった。

- 特に、言語コミュニケーションの難しい利用者の思いをくみ取るには至らなかった。
- ・ 声掛けを通し笑顔は引き出せたが、相手に思いやりを持って接する気持ちが足りなかった。

③ 2班

- ・ 移乗・移動、排泄のできることを担当より出してもらい、情報を共有し統一した援助を行った。安全に継続できるよう見守りに努めたが、時間に余裕がない時は介助してしまう事もあった。
- ・ 生活史の見直しを各担当で行ったことで、普段話さない利用者も昔の話になると多くを語ったり、新たな情報を得ることもできた。知る前と知った後では関わり方も違い、利用者の心の思いを知ることができた。その人の生活史を知った上で、職員がどう関わるべきか(中には思い出したくない過去もある為)本人の気持ちを考えながら関わっていきたい。
- ・ ケアプランが同じ内容の利用者を集め、余暇をグループ分けで行おうとしたが、園芸・カラオケ・散歩など一部の利用者だけで行い、全員に関わることは少なかった。
楽しみを共有し意欲を引き出せなかったが、利用者個々の訴えにはその都度対応し自己決定を尊重し行うことができた。

④ 3班

- ・ 訴えや要望に対し、否定からではなく、気持ちを知らうとする声掛けをすることができた。声掛けは丁寧に行おうと心掛けて実行できたが、忙しさの中で、笑顔が足りないことがあった。
- ・ 午前の離床後に整容の時間を設ける事で、意識して行うことができたが、それ以外では不十分なところもみられた。
- ・ 不穏利用者に対して、情報を共有、対策を立てて共通した対応をすることで、不穏軽減につながるケアができたが、個々で行動し、声を掛け合うことが足りず、チームワーク、連携面で不足していることがあった。

ADL 調査

H26.3.31 現在

認知症度		寝たきり度		
自立	0	ランクJ	1	0
I	0		2	0
II a	1	ランクA	1	0
II b	16		2	0
III a	45	ランクB	1	5
III b	3		2	54
IV	21	ランクC	1	2
M	4		2	29
計	90	計		90

	入浴(洗身)	更衣動作	洗面	食事摂取	口腔清潔	起居	移乗	移動
自立	/	1	9	14	14	7	1	3
見守り		1	6	21	5	7	6	15
一部介助	14	27	34	22	32	16	23	6
全介助	76	61	41	33	39	60	60	66
計	90	90	90	90	90	90	90	90

入浴	
特浴	56
普通浴	23
ライナー浴	11
計	90

排泄	
トイレ	10
おむつ	60
トイレ/おむつ	20
計	90

《給食》

- ◎ 栄養ケアマネジメントの実施
 - ・ 咀嚼・嚥下の状態、嗜好やアレルギー・疾病等の情報を基に立てた栄養ケアプランにより、個人に合わせた食事の提供を行った。
 - ・ 摂食状況を観察し、食事形態の適・不適のチェックを行い、担当者と相談のうえ形態変更を施行、現状最適な食事形態での栄養補給の希求を行った。
 - ・ 定期的な体重測定の実行で、体重の変化や喫食率等により低栄養リスクのふり分けのうえ、プランの見直しを行った。

- ◎ 安全な食事の提供
 - ・ 調理従事者の衛生管理点検を毎日、検便を月1回行い異常がないことを確認した。
 - ・ 作業前・後の水質検査、納品時の検品を行い、異常の有無を確認した。
 - ・ 厨房内の害虫駆除を2ヶ月毎に1回、害虫駆除を年2回実施した。
 - ・ 食中毒についての理解と危機感を自覚するため、食中毒予防の教訓映像や資料をもとに調理員と勉強会を行った。
 - ・ 申し送り帳の書き込みと確認を徹底することで、食事変更時の配膳ミスの防止に努めた。

- ◎ 日常生活の活性化
 - ・ 週1~2回の割合で選択食を設け選ぶ楽しさを加えた。
 - ・ 誕生会食・行事食を実施し、季節感を感じ取れる献立とした。また、常食と刻み食の違いが少ないメニューにし、一体感を表すよう心掛けた。
 - ・ おかず毎の残量チェックと嗜好調査を行い献立の参考とした。

- ◎ 非常食の確保と提供
 - ・ 近年相次いで起こった大規模災害の教訓から、災害リスクに対応した事業継続のための対策として、利用者の食事形態に対応した非常食と飲料水を3日分確保した。
 - ・ 災害時の食欲や状況を考慮し、日頃から味や器に慣れておくため、また備蓄の無駄を出さないため、平常時在庫の備蓄転換方式をとり、非常用食料を組み入れたメニューを工夫した。

食 事 状 況

H26.3.31 現在

主食形態		副食形態	
米飯	7	常食	6
米飯＋全粥	2	一口大	9
全粥	46	きざみ	26
ミキサー粥	3	超きざみ	15
ゼリー粥	9	ミキサー	10
高栄養ゼリー	3	高栄養ゼリー	4
流動食	5	流動食	5
経管栄養	15	経管栄養	15
計	90	計	90

療 養 食 及 び 経 口 維 持 ・ 移 行 状 況

	糖尿病食	心臓病食	高脂血症	経口維持	経口移行	計
4月	13 (2)	6 (0)	0	0	0	19 (2)
5月	14 (0)	6 (0)	0	0	0	20 (0)
6月	13 (1)	5 (1)	0	0	0	18 (1)
7月	13 (0)	6 (1)	0	0	0	19 (0)
8月	13 (0)	5 (1)	0	0	0	18 (0)
9月	13 (0)	6 (0)	0	0	0	19 (0)
10月	13 (1)	7 (0)	0	0	0	20 (1)
11月	12 (0)	7 (0)	0	0	0	19 (0)
12月	10 (1)	5 (0)	1	0	0	16 (1)
1月	11 (0)	5 (1)	1	0	0	17 (1)
2月	11 (0)	6 (1)	1	0	0	18 (1)
3月	11 (1)	6 (1)	1	0	0	18 (2)
計	147 (6)	70 (6)	4	0	0	221 (12)

※ ()はショートステイ利用者

行 事 実 施 状 況

	実施日	場 所 時 間	参加人数(人)			
			利用者	ボランティア 他	家族	計
花見会	5月7日(火)	弘前堅田ハ ^ッ イ ^ッ スト ^ラ イブ ^ッ 9:53~11:31	9			9
母の日	5月12日(日)	ホール 10:00~11:00	73			73
新城中央小 学校運動会	5月26日(日)	新城中央小学校 校庭 8:30~10:45	7			7
父の日	6月16日(日)	ホール 10:10~11:10	76			76
夏祭り	7月14日(日)	中庭・ホール 11:00~13:30	87	109	104	300
ねぶた観覧	8月2日(金)	市役所前 17:00~21:20	7			7
供養会	8月20日(火)	ホール 10:00~11:20	85			85
開苑記念 ・敬老会	9月8日(日)	ホール 10:30~13:30	90	9	77	176
十五夜	9月19日(木)	ホール 夕食時	76			76
新城中央小学 校学習発表会	10月5日(土)	新城中央小学校体育館 8:00~12:20	6			6
浅虫水族館	10月23日(水)	浅虫水族館 9:40~14:00	12			12
クリスマス会	12月24日(火)	ホール 10:30~11:05	75			75
餅つき	12月26日(木)	ホール 10:20~10:50	69			69
年越し	12月31日(火)	ホール 昼食時	65			65
正月ゲーム 大会	1月1,2日 (水・木)	ホール 10:00~11:00	1日 60 2日 67			1日 60 2日 67
節分	2月3日(月)	ホール 11:30~11:45	79			79
ひなまつり	3月3日(月)	ホール 11:30~12:45	74			74

※ 4月・6月・8月・10月・12月・2月(各月4日)・・・ビデオ上映会(アルコーブ)実施

※ 5月・7月・9月・11月・1月・3月・・・大相撲星取戦実施

各 班 実 施 状 況

	実施日	場 所 時 間	参加 人数
1 班	9 月 10 日(火)	青森県観光物産館 アスパム 9:58～11:33	3
2 班	5 月 23 日(木)	道の駅いなかだて・田舎館村埋蔵文化センター 10:00～14:00	3
	6 月 19 日(水)	ガーラタウンマエダ 10:04～12:07	3
	7 月 24 日(水)	ねぶたの家「ワ・ラッセ」 10 : 00～12 : 00	4
	8 月 21 日(水)	青森県観光物産館 アスパム 10 : 00～12:00	3
	9 月 25 日(水)	黒森山浄仙寺・津軽伝承工芸館 10 : 00～13 : 50	3
3 班	6 月 20 日(水)	浪岡アップルヒル 10:00～12:00	3
	7 月 18 日(木)	ねぶたの家「ワ・ラッセ」 10 : 00～12 : 00	3
	9 月 17 日(火)	青森県観光物産館 アスパム 10 : 00～12 : 00	3
	10 月 31 日(木)	アップルヒル 10 : 00～11 : 45	3

《個別機能訓練》

- ・ 月 2 回作業療法士による運動機能評価を受けた。
- ・ ROM などの個別訓練を実施した。
- ・ 利用者に合わせたリハビリ指導を受け、個々にあった生活リハビリを行った。
- ・ 週 1 回集団訓練対象者の訓練を行った。
- ・ 11 月 6 日 全利用者を対象としたゲーム大会を実施した。

職 員 研 修 状 況

研修主催	研修内容			参加職種内容								
	研修名	期日	日数	施設長	事務長	部長	相・ケア	事務員	看護職員	介護職員	栄養士	計
県社協	福祉従事者研修会 新任職員研修編	自 H 25 . 5 . 9 至 10	2							2		2
東青地区 老施協	第1回 生活相談員会議	自 H 25 . 5 . 10 至	1				1					1
県老福協	介護福祉士 ファーストステップ研修	自 H 25 . 5 . 16 至 17	2							2		2
東青地区 老施協	第1回 通常総会	自 H 25 . 5 . 31 至	1				1					1
県老福協	新任職員研修会	自 H 25 . 6 . 4 至	1					1				1
県老福協	介護福祉士 ファーストステップ研修	自 H 25 . 6 . 15 至 16	2							2		2
青森年金 事務所	算定基礎届実務研修 会	自 H 25 . 6 . 17 至	1		1							1
県老福協	青森県認知症 介護実践研修	自 H 25 . 6 . 24 至 28	5							1		1
安全運転管 理者協会	マナーアップ 交通安全大会	自 H 25 . 6 . 25 至	1					1				1
県立 中央病院	褥瘡対策について	自 H 25 . 6 . 25 至	1						1			1
県老福協	青森県認知症 介護実践研修	自 H 25 . 7 . 1 至 8 . 4	28							1		1
県老福協	青森県認知症 介護実践研修	自 H 25 . 7 . 3 至	1							1		1
県 健康福祉部	青森県高齢者権利 擁護推進員養成研修	自 H 25 . 7 . 4 至 9 . 3	62							1		1
県社協	福祉従事者研修会 指導的職員研修編	自 H 25 . 7 . 9 至 10	2							1		1
県老福協	介護福祉士 ファーストステップ研修	自 H 25 . 7 . 18 至	1							2		2
県老福協	介護技術 レベルアップ研修会	自 H 25 . 7 . 19 至	1							2		2
県老福協	介護福祉士 ファーストステップ研修	自 H 25 . 8 . 20 至 21	2							2		2
県老福協	青森県認知症 介護実践研修	自 H 25 . 8 . 29 至	1							1		1
介護労働 安定センター	覚えておきたい 最新労務管理	自 H 25 . 9 . 10 至	1					1				1
県老福協	介護福祉士 ファーストステップ研修	自 H 25 . 9 . 26 至 27	2							2		2
県 健康福祉部	青森県高齢者権利 擁護推進員養成研修	自 H 25 . 10 . 7 至	1							1		1
県老福協	青森県認知症 介護実践研修	自 H 25 . 10 . 15 至 19	5							1		1
県老福協	介護福祉士 ファーストステップ研修	自 H 25 . 10 . 22 至	1							2		2

研修主催	研修内容			参加職種内容								
	研修名	期日	日数	施設長	事務長	部長	相・ケア	事務員	看護職員	介護職員	栄養士	計
県老福協	青森県認知症介護実践研修	自 H 25 . 10 . 23 至	1							1		1
県老福協	青森県認知症介護実践研修	自 H 25 . 10 . 28 至 11 . 24	28							1		1
県健康福祉部	認定調査従事者現任研修	自 H 25 . 10 . 29 至	1				2					2
青森年金事務所	社会保険実務研修会	自 H 25 . 11 . 7 至	1		1							1
関西ケア研究所	車いすシーティング	自 H 25 . 11 . 9 至	1							1		1
青森県栄養士会	栄養・マネジメント研修会	自 H 25 . 11 . 9 至	1								1	1
県老福協	事故原因の分析手法・技術習得のための研修会	自 H 25 . 11 . 12 至	1						1			1
介護労働安定センター	介護事業所の雇用管理セミナー	自 H 25 . 11 . 26 至	1					1				1
県老福協	介護福祉士ファーストステップ研修	自 H 25 . 11 . 22 至 23	2							2		2
雲母書房	三好春樹の認知症ケア・集中講義	自 H 25 . 12 . 8 至	1							1		1
県老福協	介護福祉士ファーストステップ研修	自 H 25 . 12 . 9 至 11	3							1		1
県老福協	介護福祉士ファーストステップ研修	自 H 25 . 12 . 16 至 18	3							1		1
県老福協	青森県認知症介護実践研修	自 H 25 . 12 . 25 至	1							1		1
県社協	施設経営支援セミナー 離職防止環境整備研修会	自 H 26 . 1 . 14 至 15	2					1				1
青森年金事務所	雇用保険・医療保険・年金合同説明会	自 H 26 . 1 . 23 至	1		1							1
全社協	介護事業経営セミナー	自 H 26 . 1 . 29 至 30	2					1				1
東青地区老福協	第3回生活相談員会議	自 H 26 . 1 . 31 至	1				1					1
県老福協	介護福祉士ファーストステップ研修	自 H 26 . 2 . 1 至	1							2		2
県社協	施設経営支援セミナー メンタルヘルス研修会	自 H 26 . 2 . 4 至	1					1				1
障害者職業センター	障害者雇用納付金及び報奨金事務説明会	自 H 25 . 2 . 13 至	1					1				1

研修主催	研修内容			参加職種内容								
	研修名	期日	日数	施設長	事務長	部長	相・ケア	事務員	看護職員	介護職員	栄養士	計
東青地区 老福協	第2回 施設長・事業所長会議	自 H 26 . 2 . 14 至	1		1							1
県運営適正 化委員会	福祉サービスに関する 苦情解決事業研修会	自 H 26 . 1 . 25 至	1		1							1
青森市 保健所	特定給食施設等研修 会	自 H 26 . 2 . 28 至	1								1	1
県栄養士会	介護予防従事者研修会 (栄養改善・口腔機能向上)	自 H 26 . 3 . 4 至	1								1	1
介護労働 安定センター	介護 リスクマネジメント講座	自 H 26 . 3 . 13 至	1				1					1
東青地区 老福協	第2回 通常総会	自 H 26 . 3 . 20 至	1				1					1
青森市 健康福祉部	介護サービス事業者 に対する集団指導	自 H 26 . 3 . 24 至	1				1	1				2

社会福祉実習及び学習等受入状況

学 校 名	男	女	計	期 間
青 森 県 立 保 健 大 学	1	3	4	7 月 10 日
青 森 明 の 星 短 期 大 学	1	0	1	6 月 3 日 ~ 6 月 22 日
	0	1	1	11 月 25 日 ~ 12 月 13 日
青 森 中 央 短 期 大 学	0	1	1	10 月 10 日 ~ 10 月 30 日
東 奥 保 育 ・ 福 祉 専 門 学 院	0	1	1	7 月 1 日 ~ 7 月 19 日
	1	1	2	9 月 9 日 ~ 9 月 27 日
東 奥 学 園 高 校	1	2	3	6 月 17 日 ~ 6 月 21 日
	2	2	4	7 月 1 日 ~ 7 月 12 日
	1	2	3	7 月 24 日 ~ 8 月 9 日
	2	2	4	8 月 19 日 ~ 9 月 4 月
	1	2	3	9 月 9 日 ~ 9 月 13 日
	2	2	4	9 月 24 日 ~ 9 月 27 日
	3	9	12	12 月 3 日
	4	8	12	12 月 10 日
	2	2	4	3 月 10 日 ~ 3 月 14 日
小 計	21	38	59	
団 体 名	男	女	計	期 間
介 護 等 体 験 (県 社 協)	1	0	1	11 月 25 日 ~ 11 月 29 日
介 護 労 働 安 定 セ ン タ ー	0	2	2	1 月 9 日 ~ 1 月 10 日
	1	1	2	1 月 21 日 ~ 1 月 22 日
青 森 自 治 研 修 所	2	2	4	10 月 3 日
	2	2	4	10 月 10 日
	3	0	3	10 月 24 日
	0	3	3	10 月 31 日
小 計	9	10	19	
合 計	30	48	78	

平成 25 年度寄贈品・慰問の状況

自 H25.4.1～至 H26.3.31

	ご芳名	寄贈品		ご芳名	慰 問
25.5.8	中村生花店	フラワーアレンジメント	25.4.23	黒石 八郎	歌
25.6.6	小田桐 ムツ	アクリルタワシ	25.6.18	川村 吉郎	歌
25.9.12	日本たばこ産業	たばこ	25.10.2	日赤奉仕団	歌・踊り
25.9.25	富士産業	入浴剤	25.12.3	しらかば保育園	おゆうぎ
25.10.23	西部寿大学大学院 OG会西部女性大学	清拭布			
25.11.19	西部寿大学大学院 OG会西部女性大学	清拭布			
25.12.25	富士産業	入浴剤			
25.12.25	青森県立 青森西高等学校	クリスマスカード			

Ⅲ かいふう

- (1) 入居者及び家族との連携を密にし、入居者が安心して生活できるように配慮した。
- (2) 入居者と保育所、中学校等との交流を図った。
- (3) 行政、協力病院等と連携を密にし、入居者の安心・安全に努めた。

《全体》

平成 25 年度の入居状況の稼働率は、長期入所(50 床)は約 99.8%、短期入所(10 床)は 86.0%であった。

入居者の高齢化に伴い、転倒防止を事前に防止するために職員が常に目配りをしながら、安全強化に努めた。

また、入居者に気分転換をしてもらう為に、水族館及びねぶた等を見学。他に、外出の機会を多くとる事が出来た。

介護職員のキャリア・アップ推進のため、介護職員の評価を行うアセッサー（評価者）講習に参加した。

《総務》

介護職員の入退社については問題なくスムーズに行う事が出来たが、看護職員については、募集に対しての応募がなく、ハローワーク、看護人材センター、有料紹介所（JOB メイト）

に問い合わせ等働きかけるも難しい状態が続いています。慈恵会や敬仁会病院に協力を依頼し、出向職員として業務して頂いている。今後も看護職員採用に対して努力する。

職 員 構 成 表

						H26.3.31現在
職 種	常勤	非常勤		常勤	非常勤	職務内容
施 設 長	1		男	1		施設を管理統括する。
			女			
医 師（嘱 託）		1	男		1	施設内診療所を管理し、週2回入居者の診療をする。
			女			
介護支援専門員	1		男	1		施設サービス計画の作成。適切なサービスが利用できるように連絡調整を行う。
			女			
生活相談員	1		男			入居者の心身の状況・置かれている状況の把握、必要な援助を行なう。
			女	1		
事 務 員	3		男	2		経理・総務等事務処理を行う。
			女	1		
看 護 職 員	2	2	男			入居者の健康保持。医師の指示に従い疾病者の看護等を行う。
			女	2	2	
機能訓練指導員	1		男			日常生活を営むために必要な機能向上・減退防止のため、訓練を行う。
			女	1		
介 護 職 員	30	3	男	9		個々の施設サービス計画書に基づき、介護サービスを提供する。
			女	21	3	
管 理 栄 養 士	1		男			栄養ケアマネジメント、給食栄養量の算出等、給食業務全般の管理に当たる。
			女	1		
そ の 他	2	3	男	1	2	洗濯・営繕・燃料の管理・雑作業・宿直業務等を行う。
			女	1	1	
総 数	42	9	男	14	3	
			女	29	7	

《経理》

東日本大震災の電力不足に発足した節電意識から経費削減を声かけし、節減のため、職員全員で電気の消灯等を積極的に実施し、予算削減に努めた。

予算計上した物品購入についても、計上時期と現状とを考慮にいれ再検討し、効率よく業務を実施することに努めた。

《管理》

◎ 非常災害に備えた体制の確立

- ・ 消防・通報・避難訓練等を6月と10月に（年2回）実施した。
- ・ 消防設備点検委託業者により6月と10月の2回実施した。
- ・ 自主点検は常に実施した。
- ・ 停電時などの緊急体制を見直し、連絡体制を確立した。

◎ 車輛管理

- ・ 福祉車及び普通車(軽自動車)で利用者の送迎を主体に使用した。
- ・ 車輛使用にあたり車輛毎に使用状況の記録簿を供えつけて記入し、効率よく使用した。
- ・ 安全運転を実施するために運転する職員がアルコール感知器で毎回測定し、飲酒・酒気帯び運転等への注意を促し安全運転に努めた。
- ・ 交通安全期間中には幟を掲示し、全職員に安全運転への意識を高めた。

施 設 管 理 実 施 状 況

実施月	実施内容
4月	衛生害虫駆除
5月	ボイラー点検
6月	衛生害虫駆除（薬剤散布） 避難訓練…総合訓練（日勤想定）
7月	消防設備点検 自動ドア点検
8月	衛生害虫駆除 ばい煙濃度測定
9月	ろ過装置点検
10月	衛生害虫駆除 消防設備点検 避難訓練…総合訓練（夜間想定）
11月	地下タンク点検 ポンプ点検 ボイラー点検 床暖点検
12月	衛生害虫駆除（薬剤散布） 昇降機以外の建築設備の定期報告
1月	自動ドア点検
2月	衛生害虫駆除 ばい煙濃度点検
3月	ろ過装置点検

※毎月・・・レジオネラ検査、エレベーター点検、電機設備点検

《介護支援専門員》

◎ 入居者の QOL の向上を考慮したケアプランの作成

・ 概ね6ヶ月毎にカンファレンスを開催した。また、概ね3ヶ月毎にモニタリングを実施し、入居者及び家族の生活に対する意向・心身の状態やニーズを把握することで QOL 向上を目指したケアプランを作成した。

・ 入居者との面談や家族との意見交換等を行う機会を積極的に設けることで、入居者の心身状況の変化や家族の環境変化等の把握に努めた。

《生活相談員》

◎ 入居者が家族や地域等との関わりを持ちながら、可能な限り本人の希望に沿った生活の支援。

・ 施設行事や慰問等を開催し、地域住民と関わりをもつ機会をつくる事ができた。

・ 入居者の意見や要望を把握する事で各部署や家族と情報を共有し、可能な限り本人の希望に沿えるよう支援の方法を検討、実施した。

◎ 在宅生活の継続支援。

・ ショートステイでの生活が在宅での生活とできる限り近づけるように利用者からの要望や家族、担当ケアマネジャーからの情報をもとに支援した。

・ 家族や担当ケアマネジャーとの情報交換を密に行う事やサービス担当者会議への出席等により、支援方法を見直しする事ができた。

施設利用状況調

自 H25.4.1～至 H26.3.31

事項		市町村		青	平	む	玉	野	つ	合	
		森	内	つ	所	辺	がる	計			
前年度末	入居人員	男	9	1	0	0	0	0	0	10	退居人員 6人 内 { 家庭内復帰 0人 他施設へ 0人 長期入院 6人 死亡退居 8人 入院中 8人 施設内 0人 死亡率 月平均 0.67人 定員50人に対する 年間 16%
		女	34	3	2	1	0	0	0	40	
		計	43	4	2	1	0	0	0	50	
本 年 度 中	入居人員	男	0	4	0	0	0	0	0	4	
		女	4	2	2	0	1	1	1	10	
		計	4	6	2	0	1	1	1	14	
	退居人員	男	2	0	0	0	0	0	0	2	
		女	3	1	0	0	0	0	0	4	
		計	5	1	0	0	0	0	0	6	
	死亡人員	男	1	2	0	0	0	0	0	3	
		女	5	0	0	0	0	0	0	5	
		計	6	2	0	0	0	0	0	8	
本 年 度 末	入居人員	男	6	3	0	0	0	0	0	9	
		女	30	4	4	1	1	1	1	41	
		計	36	7	4	1	1	1	1	50	

面会状況調

自 H25.4.1～至 H26.3.31

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
279	318	284	315	322	317	321	274	320	348	290	298	3,686

利用者年齢階層調

平均年齢 85.0 歳
 平均年齢 男子 80.5 歳 最高 95 歳 最低 66 歳
 女子 86.0 歳 最高 98 歳 最低 68 歳

							H26.3.31現在					
年齢階層	性別人数		比率		計・人		比率					
	男・人		女・人									
65歳未満	0	0	0	0	0	0	0	0				
65～69歳	1	11.1	1	2.4	2	4	4	4				
70～74歳	1	11.1	1	2.4	2	4	4	4				
75～79歳	2	22	2	4.8	4	8	8	8				
80～84歳	3	33.4	12	29.3	15	30	30	30				
85～89歳	1	11.1	11	26.9	12	24	24	24				
90～94歳	0	0	13	31.7	13	26	26	26				
95～99歳	1	0	1	2.5	2	4	4	4				
100歳以上	0	0	0	0.0	0	0	0	0				
合計	9	人	100	%	41	人	100	%	50	人	100	%

利用者介護度平均

H26.3.31現在

介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	平均
人数	0	0	11	21	18	4.12

ショートステイ利用状況

利用者数		自 H25.4.1～至 H26.3.31												
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用者数		17	17	13	14	16	17	20	16	18	14	14	16	192
理由	社会的	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	私的	17	17	13	14	16	17	20	16	18	14	14	16	192
送迎回数		18	16	14	12	11	15	19	12	18	7	10	16	168
利用延べ人数		自 H25.4.1～至 H26.3.31												
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
内訳	介護保険	270	270	257	260	264	261	269	254	287	296	248	284	3,220
	委託	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総利用延べ人数		270	270	257	260	264	261	269	254	287	296	248	284	3,220
平均利用人数		自 H25.4.1～至 H26.3.31												
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
1日平均利用者数		9	8.7	8.6	8.4	8.5	8.7	8.7	8.5	9.3	9.5	8.9	9.2	8.8

《看護》

◎ 感染予防対策強化

- ・ 新入職員を対象に感染症についての講義、手洗いの実技を実施した。
- ・ 感染症発生時の対応の確認とマニュアルの見直しを行った。
- ・ 勉強会にてノロウイルス・インフルエンザ予防と発生時の対応を行い職員へ周知した。
- ・ 11月に入居者、職員に対してインフルエンザ予防接種を実施した。結果、入居者、職員とも罹患者はなかった。

◎ 健康管理対策

- ・ 9月に入居者の健康診断を実施した。
- ・ 週2回 嘱託医が来訪し、入居者の健康管理を行った。
- ・ 協力病院との連携を図り、入居者の状態に応じ、主治医へ状態報告し通院介助や必要な処置を実施した。

◎ 入居者の自立支援と生活機能の向上

- ・ 機能訓練指導員、介護職員、他職員や家族他と情報の共有をし自立支援、機能向上に取り組んだ。

月別入院状況集計表

自 H25.4.1～至 H26.3.31

	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
入院日数	24	53	48	93	30	73	28	19	79	0	42	27	19	103	12	121	31	121	31	73	24	14	31	6	399	703
合計	77		141		103		47		79		69		122		133		152		104		38		37		1102	
入院人数	1	5	2	5	1	3	4	2	5	0	3	1	1	6	1	5	1	6	1	5	1	3	1	1	22	42
合計	6		7		4		6		5		4		7		6		7		6		4		2		64	

*入院日は入る。退院日は入らない。亡くなった人は死亡日まで。退去者は退去日まで。

月別褥瘡処置集計表

自 H25.4.1～至 H26.3.31

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
処置人数	7	12	12	19	11	18	16	23	18	25	20	30	211

健康診断結果報告

平成25年9月3日～9月25日 入居者47名(3名は一般状態不良にて健康診断中止)の胸部レントゲン、血液・尿検査を実施した。
結核感染者はなし。

	健康診断異常なし	40名			
	要精密検査者	7名			

《介護》

◎ 普通の生活

- ・ ユニット会議等で、情報収集した事を報告しあい、24Hシート一覧表の訂正をした。
- ・ 施設内研修を実施した。

ADL 調査

H26.3.31 現在

認知症度		寝たきり度	
自立	0	ランクJ	0
I	3		0
IIa	1	ランクA	0
IIb	11		1
IIIa	20	ランクB	14
IIIb	3		22
IV	11	ランクC	3
M	1		10
計	50	計	50

	入浴(洗身)	更衣動作	洗面	食事摂取	排泄	口腔清潔	起居	移乗	移動
自立	0	0	0	0	0	0	0	0	0
見守り	1	0	4	25	1	4	3	3	17
一部介助	2	10	20	9	7	20	9	8	7
全介助	47	40	26	16	42	26	38	39	26
計	50	50	50	50	50	50	50	50	50

入浴	
特浴	27
普通浴	0
※個浴 随時	
ライナー浴	23
	50

排泄	
トイレ	3
おむつ	24
トイレ/おむつ	23
P/おむつ	
	50

《給食》

◎ 栄養ケア・マネジメントの実施。

- ・ スクリーニングにより低栄養のリスク判定を行い、アセスメントにより個々の疾病、体格、咀嚼・嚥下状態、嗜好等及び問題点に対するケア方法を検討。これらを踏まえ栄養ケア計画書を作成した。
- ・ 他職種と協同し、入居者の状態に変化が見られる場合には、食形態等の変更を検討・実施し、個々の状態にあった食事を提供した。
- ・ モニタリングにより提供内容等について評価を行い、食事の見直しを行った。

◎ 安全な食事の提供。

- ・ 毎月、調理従事者の検便調査を実施し異常のないことを確認。また、衛生点検表に基づき、厨房の設備や器具、調理従事者、食材・料理等の衛生管理を実施し安全な食事の提供に努めた。
- ・ 調理従事者に対しては、職場内にて食中毒の勉強会を実施した他、季節毎に多発する食中毒に関する情報を提供し注意を喚起することにより食中毒の防止に努めた。
- ・ ユニット内で調理を行う際の注意喚起や消毒の指導、ご家族への食品の持ち込みについての説明を実施した。

◎ ユニット食事会の実施。

- ・ 各ユニットの担当者が入居者に希望の献立を伺い、それを基に管理栄養士が、旬の食材を組み込んで献立を作成し、当日調理を行うという方法で実施した。食事会は3ヶ月に1回の実施となった。食事会以外でも、ユニット内で誕生会や行事の際にも、ユニットで調理を実施し楽しんでいただいた。
- ・ 料理は常食のみであるが、食べやすいように考慮した柔らかさ・大きさにし、摂取が困難と判断した場合、その場で刻んでその方にあった状態で提供することとした。また、ゼリー食の方にも摂取可能なものを提供して、食事会の雰囲気を感じていただいた。
- ・ 食事会では、普段はお粥やきざみ食の方でも、常食を問題なく摂取され、ユニット内で調理することで、いつもと違う雰囲気を感じていただくことができ、普段よりも食欲旺盛な方が多かった。今後も入居者の嗜好を普段からくみ取り、食事会を続けていく。

食 事 状 況

H26.3.31 現在

主食形態		副食形態		嚥下状態	
常食	16	常食	19	出来る	25
粥	18	きざみ	17	見守り	18
ミキサー	3	ミキサー	3	出来ない	7
ゼリー	6	ゼリー	4		
経管栄養	7	経管栄養	7		
計	50	計	50	計	50
※経管栄養の種類:cz-hi,cz-hi 1.5					

療養食及び経口維持・移行状況

自H25.4.1～至H26.3.31

	糖尿病食	心臓病食	肝臓病食	経口維持	経口移行	計
4月	5	3	0	0	0	8
5月	5	3	0	0	0	8
6月	5	3	0	0	0	8
7月	5	3	0	0	0	8
8月	6	3	0	0	0	9
9月	4	3	0	0	0	7
10月	4	3	0	0	0	7
11月	4	3	0	0	0	7
12月	3	3	0	0	0	6
1月	4	3	0	0	0	7
2月	4	2	0	0	0	6
3月	4	2	0	0	0	6
計	53	34	0	0	0	87

行 事・地 域 交 流

自 H25.4.1～至 H26.3.31

行 事	実施日	場 所	参加人数(人)		
			入居者	家族・地域	計
敬老会	9月16日(月)	多目的ホール・共同生活室	55	55	110
保育園おゆうぎ会	12月9日(月)	あさむし保育園	3		3
クリスマス会	12月25日(水)	共同生活室	24		24
お正月	1月1日(水)～ 1月8日(水)	共同生活室	45		45
豆まき	2月3日(月)	共同生活室	47		47
ひなまつり	3月3日(月)	共同生活室	49		49

※ 誕生日は個々に聴きながら、入居者と家族が望んだ過ごし方を提供した。
茶話会は、各ユニットで計画し入居者と作り、会食を楽しまれた。

平成 25 年度寄贈品・慰問の状況

自 H25.4.1～至 H26.3.31

	ご芳名	寄贈品		ご芳名	慰 問
—	—	—	H25.5.29	動物愛護センター	動物ふれあい活動
			H25.9.16	泉 栄峰	日本舞踊

外出参加状況

自 H25.4.1～至 H26.3.31

実施月	実施回数	参加人数(人)						
		あやとり	お手玉	紙ふうせん	おはじき	てまり	竹とんぼ	計
4月	1回					2		2
5月	13回	7	3	1	1	4	2	18
6月	7回	2	3	1	1	2		9
7月	7回		3	3	3	2		11
8月	4回	1	1	2	1	1		6
9月	6回	2	2		2	1	2	9
10月	7回	1	6		2	2	2	13
11月	7回	2	1	2	2	1	1	9
12月	0回							0
1月	1回		1					1
2月	1回	3	2					5
3月	9回	1	3	2	3	2	3	14

《機能訓練》

- ・ PTによる新規入居者の機能評価、1年に1度の再評価にもとづき、個別機能訓練計画書の作成と3ヶ月ごとに評価した。また、PTに相談しながら、機能訓練を実施した。
- ・ 月1回の集団訓練、運動会、書初め大会を実施した。

職 員 研 修 状 況

研修主催	研修内容			参加職種内容							
	研修名	期 日	日数	施設長	事務員等	相談員	ケアマネ	看護職員	介護職員	栄養士	計
青森県 老人福祉協会	第1回 通常総会	自至 H25.5.21	1	1							1
東青地区 老人福祉協会	第1回 相談員会議	自至 H25.5.10	1			1	1				2
県立保健大学 地域連携推進課	老人福祉施設 新任職員研修	自至 H25.5.9 H25.5.10	2						2		2
青森地域 広域消防事務局	防火管理者講習	自至 H25.5.23 H25.5.24	2		1						1
東青地区 老人福祉協会	通常総会	自至 H25.5.31	1	1		1	1				3
東青地区 老人福祉協会	第2回 相談員会議	自至 H25.6.14	1			1					1
東青地区 老人福祉協会	施設長・事業所長会議	自至 H25.6.28	1	1							1
青森県 老人福祉協会	青森県老人福祉施設大会	自至 H25.7.8 H25.7.9	2	1			1		1		3
青森県 社会福祉協議会	福祉従事者研修会 指導的職員研修	自至 H25.7.9 H25.7.10	2						1		1
県立保健大学 地域連携推進課	食の安全セミナー	自至 H25.7.25	1							1	1
青森県商工労働部 新産業創造課	地域課題ITソリューション 提案ワークショップ	自至 H25.9.27	1				1				1
青森県健康福祉部 高齢福祉保険課	認定調査従事者 現任者研修	自至 H25.10.29	1				1				1
青森県 社会福祉協議会	福祉従事者研修会 中堅職員研修	自至 H25.10.29 H25.10.30	2						1		1
一般社団法人 シルバーサービス振興会 キャリア段位事業部	介護プロフェッショナル キャリア段位制度 評価者（アсессラー）講習	自至 H25.10.30	1						1		1
東青地区 老人福祉協会	東青地区老人福祉協会 研修会	自至 H25.11.10	1						3		3
(財)介護労働 安全センター	とことん変形労働時間	自至 H25.11.26	1		1						1
東青地区 老人福祉協会	第3回 相談員会議	自至 H26.1.31	1			1					1
東青地区 老人福祉協会	施設長・事業所長会議	自至 H26.2.14	1	1							1
青森市保健所	特定給食施設等研修会	自至 H26.2.28	1							1	1
東青地区 老人福祉協会	通常総会	自至 H26.3.20	1	1		1					2

IV デイサービスセンター鶴ヶ丘

- ◎ 利用者の心身の状況に応じた機能訓練を行うことで、生活機能の向上を支援する。
 - ・ 機能訓練指導員（作業療法士）の配置に伴い、利用者それぞれの状態に合わせてより専門的な視点から訓練を行うことで、機能維持・向上に努めた。
 - ・ 余暇活動の一環として「漢字の書き取り」や「計算問題」などを行い、楽しみながら脳の活性化につながるよう取り組んだ。

- ◎ 月行事等の活動を通し、社会参加することで生活意欲を高める。
 - ・ 外食を含めた遠方への行事や、四季折々の風情を感じて頂けるような計画を企画、実施に取り組み、好評を得ることができた。
 - ・ おやつ作りでは、管理栄養士監修の元、季節ごとの旬のものを取り入れたお菓子作りを提案、作成できた。
また、栄養面での指導もあり、興味深く参加していただいた。
 - ・ サックスホン演奏者を招き、懐かしの曲を聴くことで涙する利用者もおり、好評であった。

職 員 構 成 表

H26.3.31現在

職 種	常勤	非常勤	兼務		常勤	非常勤	兼務	職務内容
所 長			1	男 女			1	施設を管理統括する。
生 活 相 談 員	2		1	男 女	1 1		1	利用者の心身の状況・置かれている状況の把握・必要な援助を行なう。
看 護 職 員		1		男 女		1		利用者の健康管理を行う。
機能訓練指導員	1			男 女	1			機能訓練計画書を作成、計画に基づき訓練を行い、状態を評価する。
介 護 職 員	4			男 女	1 3			通所介護計画書に基づき、介護サービスを提供する。
総 数	7	1	2	男 女	2 4	0 1	0 2	

職 員 研 修 状 況

自 H25.4.1～至 H26.3.31

研修主催	研修内容			生活相談員	介護職員	機能訓練	看護職員	計
	研修名	期日	日数					
お茶の水ケアサービス学院	生活相談員スキルアップ研修「通所介護計画作成編」	自 H 25 . 7 . 8 至	1		1			1
全老協	平成25年度東北ブロック老人福祉施設研究会	自 H 25 . 9 . 5 至 H 25 . 9 . 6	2	1				1
余暇問題研究所	レクリエーション・セミナー	自 H 25 . 11 . 2 至	1		1			1
県老福協	平成25年度介護スキルアップ研修「認知症の方の理解とケア」	自 H 25 . 12 . 9 至	1		1			1

月 行 事 実 施 状 況

	実施日	場 所 時 間	参加人数(人)
蓬田村ヨモット経由 海岸ドライブ	4月30日(水) 5月1日(水)・2日(木)	蓬田村ヨモット 13:00~15:10	47
お花見	5月8日(水) 9日(木)・10日(金)	合浦公園 13:00~15:00	41
買い物 (外食)	6月11日(月) 12日(火)・13日(水)	道の駅あるじゃ・小吟亭 10:00~13:30	45
昭和大物参拝	7月11日(水) 12日(木)・13日(金)	昭和大仏 13:00~15:00	34
ワ・ラッセ 観覧	8月26日(月) 27日(火)・28日(水)	ワ・ラッセ 13:00~15:00	47
買い物	9月18日(水) 19日(木)・20日(金)	浪岡アップルヒル 13:00~15:00	57
ぶどう狩り	10月7日(月)・8日(水)・ 9日(水)・10日(木)	幸畑観光ぶどう園 13:00~15:00	61
紅葉ツアー (外食)	11月6日(水)・7日(木) 8日(金)	萱野公園・あじ菜 10:00~13:25	52
クリスマス会	12月23日(月) 24日(火)・25日(水)	デイホール 13:00~14:40	92
新年会	1月6日(月) 7日(火)・8日(水)	デイホール 13:00~14:15	89
節 分	2月3日(月)~8日(金)	デイホール 13:15~14:30	147
ひな祭り	3月3日(月) 4日(火)・5日(水)	デイホール 13:00~14:15	83

お や つ 作 り 実 施 状 況

実施日		参加人数(人)	実施日		参加人数(人)
4月11日(木) 12日(金)	ヘルシー団子	62	10月15日(火) 16日(木)	肉まん	52
5月20日(月) 21日(火)	梅が枝餅	66	11月14日(木) 15日(金)	南瓜蒸しパン	58
6月20日(木) 21日(金)	ホットケーキピザ	59			
7月24日(水) 25日(木)	豆乳寒天	55	1月23日(木) 24日(金)	きなこ棒	55
8月22日(水) 23日(木)	変わりたこ焼き	56	2月17日(月) 18日(火)	ホイールケーキ	56
9月3日(火) 4日(水)	さつま芋の おはぎ風	59	3月26日(月) 27日(火)	桜餅	51

月別人員等実績表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均	
活動日数	26	27	25	27	27	25	27	26	25	24	24	26	309	25.7	
要介護1	(実人数)	19	20	20	24	21	24	27	26	23	23	24	274	23	
	(延人員)	139	157	146	182	171	197	224	208	191	169	168	2,148	179	
要介護2	(実人数)	21	17	18	18	19	18	18	19	22	20	21	231	19.2	
	(延人員)	201	186	159	167	157	148	155	172	186	173	168	2,061	171.7	
要介護3	(実人数)	14	14	15	14	14	14	13	13	14	12	10	157	13	
	(延人員)	139	141	146	135	135	131	121	112	113	81	58	76	1,388	115.6
要介護4	(実人数)	7	7	8	8	8	8	8	8	7	7	5	89	7.4	
	(延人員)	63	65	66	98	82	71	82	71	76	57	57	47	835	69.5
要介護5	(実人数)	4	3	3	3	3	3	3	2	5	4	5	41	3.4	
	(延人員)	26	21	20	21	21	20	22	14	12	29	28	33	267	22.2
暫定・保留	(実人数)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	(延人員)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
小計	(実人数)	65	61	64	67	65	67	69	69	67	65	64	792	65.8	
	(延人員)	568	570	537	603	566	567	604	577	578	509	479	541	6,699	558
要支援1	(実人数)	8	6	7	7	7	7	6	7	7	5	6	78	6.5	
	(延人員)	30	29	27	28	28	27	26	28	23	19	20	18	303	25.2
要支援2	(実人数)	14	16	15	16	17	16	16	15	16	16	14	13	184	15.3
	(延人員)	106	122	106	122	111	114	129	105	120	115	104	95	1,349	112.4
小計	(実人数)	22	22	22	23	24	23	22	22	23	21	20	18	262	22
	(延人員)	136	151	133	150	139	141	155	133	143	134	124	113	1,652	137.6
合計	(実人数)	87	83	86	90	89	90	91	91	92	88	85	82	1,054	87.6
	(延人員)	704	721	670	753	705	708	759	710	721	643	603	654	8,351	696

サービス提供内容(介護保険分)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入浴	551	557	530	587	554	560	583	563	558	489	469	527	6,528
個別機能訓練	470	448	452	508	430	401	508	475	451	400	385	441	5,369
新規登録者	2	1	4	6	2	2	2	2	4	1	1	0	27
終了者	1	3	2	2	0	1	1	3	1	2	4	3	23

V 在宅介護支援センター鶴ヶ丘

◎ 地域包括支援センター及び各関係機関との連携

- ・ 地域包括支援センターのランチとして、包括との連携を図ってきたが、縁側事業へ思うように顔出しができなかったことを反省している。今後も民生委員や包括との定期的な情報交換力を入れ、報告・連絡・相談を忘れずに地域に密着したセンターでありたいと思う。

◎ 介護予防教室の開催

- ・ 参加型の教室を目指して実施してきたが、リピーターが多いことから、年齢層もあがってきている。そのため、テーマ選びにも今後配慮が必要と感じた。今後も「楽しく学べる」をテーマに頑張りたいと思う。

職員構成表

H26.3.31現在

職種	常勤	兼務		常勤	兼務	職務内容
所長		1	男 女		1	事業所を管理統括する。
介護支援専門員		1	男 女		1	地域の関連機関との連絡調整及びサービス申請代行業務
総数	0	2	男 女	0 0	0 2	

1.相談方法別件数

	電話	来所	訪問	計
件数	47	5	19	71

2.相談時間帯

相談時間帯	営業時間内	71
	時間外	0
	計	71

3.申請代行数

申請代行数	6件
-------	----

4.相談内容別件数

(地域包括支援センターへの月別報告内容に準ずる。)

総合相談支援	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
相談内容														
介護	①介護サービスへの相談・苦情	2	7	1	5	1	1	1	0	0	0	1	3	22
	②介護サービス情報	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	3
	③介護保険外サービス	5	1	1	0	1	4	2	0	0	1	0	0	15
健康・ 介護予防	①介護予防事業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	②健康相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	③身体障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	④精神障害	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
小計	7	8	2	7	2	6	3	0	0	2	1	3	41	
権利擁護 事業	①権利擁護事業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	②成年後見制度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	③高齢者虐待	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	④消費者被害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	⑤金銭問題	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	2	1	3	3	4	3	0	1	2	2	5	4	30	
小計	2	1	3	3	4	3	0	1	2	2	5	4	30	
合計	9	9	5	10	6	9	3	1	2	4	6	7	71	

5.青森市一般高齢者介護予防事業（介護予防教室）開催状況

開催日	内容	場所	参加人数
H25.6.6(木) 10:00~12:00	ラジオ体操 第一	西部市民センター 3階多目的ホール	59名
H25.6.13(木) 10:00~12:00	ラジオ体操 第二	西部市民センター 3階多目的ホール	56名
H25.10.10(木) 10:00~12:30	お口の健康ガイド	西部市民センター 3階多目的ホール	63名
H25.11.14(木) 10:00~12:10	冷凍食品の活用術	西部市民センター 2階調理実習室	61名

・参加者が固定されているため、最近では年齢層が上がってきていると感じている。怪我が無いよう開催時には注意が必要だと思われることと、元気であっても高齢者であることを忘れずに、書類などの配慮も必要であると感じた年であった。

6.職員研修参加状況

月日	主催	研修名
25年6月12日	青森県地域包括、在宅介護支援センター協議会	平成25年度 通常総会及び会員研修会
25年11月14日 15日	〃	平成25年度 東北ブロック地域包括、在宅介護支援センター職員研修会

VI 居宅介護支援事業 在宅介護支援センター鶴ヶ丘

◎ ケアマネジメントの質の向上

- 研修会等で専門知識を習得し、職員のスキルアップを図り、利用者のニーズや課題に応じた適切なサービスを総合的に提供できるよう努めた。また、インフォーマルな支援について情報不足等もあり、うまく活用できなかった。

◎ 利用者や家族との信頼関係の構築

- 日々の申し送りで利用者の情報を共有することで、担当者が不在でも24時間連絡が取れる体制を確保し、相談等について迅速に対応することができた。また、部署内で利用者に関する情報またはサービス提供に当たっての留意事項に係る伝達等を目的とした会議を定期的に行い、新規利用者や家族等の信頼関係にも努めた。

職員構成表

H26.3.31現在

職 種	常勤	兼務			職務内容
			常勤	兼務	
管 理 者	1		男		事業所を管理統括する。
			女	1	
介護支援専門員	1	2	男	1	ケアプランの作成等
			女	2	
総 数	2	2	男	1	
			女	1	

1.相談者(対象者)月別延べ件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
件数	372	362	384	410	346	388	482	407	409	363	315	359	4,597

2.認定調査件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
件数	10	9	14	11	9	8	13	11	13	10	13	14	135

3.居宅介護支援費介護度別件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
要支援2	3	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	29
要介護1	42	40	38	45	40	44	45	45	41	41	45	45	511
要介護2	29	27	30	27	32	32	30	32	35	34	33	35	376
要介護3	28	21	23	26	24	23	23	22	24	22	21	20	277
要介護4	9	9	9	10	8	9	10	10	10	10	13	10	117
要介護5	2	2	3	3	2	2	1	1	1	5	3	4	29
	114	103	107	115	110	113	112	113	114	115	118	117	1,351

4.サービス担当者会議開催件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
件数	19	12	9	21	9	17	17	16	17	16	16	18	187

5.職員研修参加状況

月 日	研修主催	研修名	参加人数
5月16日	地域包括支援センターのぎわ	地域包括支援センターのぎわ圏域内研修会	1(1)
5月31日	青森市健康福祉部 高齢介護保険課	平成25年度認定調査従事者研修会	(1)
7月12日	地域包括支援センターのぎわ	地域包括支援センターのぎわ圏域内研修会 「課題整理表について」	1(1)
7月16日	青森市高齢介護保険課・ 地域包括支援センター	緩和ケアについて	1(1)
8月23.27. 30日	青森県健康福祉部 高齢介護保険課	平成25年度介護支援専門員更新研修・専門研修Ⅱ	1
8月29日	特別養護老人ホーム 鶴ヶ丘苑	介護職員の喀痰吸引について	2(2)
10月16日 29日	青森県 社会福祉協議会	平成25年度 地域・家族介護講座 「介護予防」「高齢者虐待」	(1)
10月24日	県立つくしが丘病院 認知症疾患医療センター	「高齢者の地域生活とケアマネジメント」	(2)
10月29日	青森県健康福祉部 高齢介護保険課	平成25年度 認定調査従事者現認研修	(2)
11月2日	青森県地域連携 実務者協議会	第2回地域連携実務者協議会 「在宅医療における保健・医療・福祉・介護の連携」	1(1)
11月15日	青森県 障害者センター	平成25年度 福祉用具利用技術住宅改修研修会	1
11月20日	青森県健康福祉部 高齢介護保険課	平成25年度 若年性認知症ケア実務者研修①	1
11月29日	青森県立保健大学 地域連携・国際センター	第13回ケアマネジメントフォーラム in 青森	2(1)
12月3日 13日	青森県 社会福祉協議会	福祉用具住宅改修研修会①・②	(1)
1月6日	青森県健康福祉部 高齢介護保険課	平成25年度 若年性認知症ケア実務者研修②	1
1月17日	青森県 社会福祉協議会	福祉用具住宅改修研修会③	(1)
1月20日	ケアプラス青森店	最新福祉用具機器に関する説明会	3(1)
2月4日	地域包括・在宅介護 支援センター協議会	平成25年度 青森県介護予防支援従事者研修	(1)
2月21日	青森市高齢介護保険課・ 地域包括支援センター	青森市包括支援センター連絡会研修会 「認知症のスクリーニング方法について」	3(1)
2月24日	青森県健康福祉部 高齢介護保険課	平成25年度 若年性認知症ケア実務者研修③	1
3月22日	青森市高齢介護保険課・ 地域包括支援センター	青森市包括支援センター連絡会研修会 「地域ケア会議の開催方法について」	(1)
3月24日	青森市 高齢介護保険課	平成25年度 介護サービス事業者等集団指導	1

※（ ）内は兼務職員の数

VII ケアハウス鶴ヶ丘

- ・ 利用者が介護予防を意識的に捉えられるよう処遇しているが、高齢化が進んでいることに鑑み予防より援助することに重点を置いた。余暇活動には積極的に参加して頂いたので、その中で予防的な余暇や運動を取り入れた。

職員構成表

H26.3.31現在

職種	常勤	非常勤		常勤	非常勤	職務内容
施設長	1		男			施設を管理統括する。
			女	1		
生活相談員	1		男			相談業務・各事業所との連絡調整、助言を行う。
			女	1		
介護職員	1		男			処遇方針・年間行事に基づき、支援・助言を行う。
			女	1		
栄養士	1		男			献立表作成・栄養摂取量の計算等や給食全般の管理にあたる。
			女	1		
用務員		1	男		1	清掃・営繕・燃料の管理・雑作業・運転業務を行う。
			女			
宿直員		2	男		2	宿直業務を行う。
			女			
総数	4	3	男		3	
			女	4		

《生活相談員》

- ◎ 利用者ニーズの把握
 - ・ 利用者との話し合いの場や普段の利用者とのコミュニケーションを通し、利用者の意向を把握するよう努めた。
- ◎ 連絡調整の徹底
 - ・ 利用者の身体、精神面での変化のあった際は介護員と連携し、家族や担当ケアマネージャーへの報告をする様努めたが、報告の遅れや確認不足な面もあり、今後は報告・連絡を速やかに行い、早期対応に努めていきたい。
- ◎ 待機者確保
 - ・ 地域包括支援センター、病院等と定期的に連絡を取り、待機者情報の情報提供を行い入所に繋がっているが、退所者が多くあり、待機者が殆んどいない状態が続いている。
 - ・ 今後も定期的に地域包括支援センターや病院と連絡をとり、待機者確保に努めていきたい。

《介護》

- ◎ 利用者のニーズに応える支援
 - ・ 処遇方針を決める時に利用者が個々に生活していく上での希望などを聞き生活上の相談に対応しているが、率直な意見を話す人は限られてきている。
 - ・ 行事などについては利用者からのアンケートで希望を取り入れるように対応している。
- ◎ 日常生活の充実
 - ・ 余暇活動に目新しい内容を取り入れることで参加意欲を持たせるように対応している。余暇活動への参加者は限られているが声掛けをし、一人でも多く参加するよう勧めた。
 - ・ エレベータ前ホールを利用し、コーヒータム、編み物、トランプなどで利用者同士の交流も見られた。
 - ・ 週1回の共用スペースの掃除は、職員が声を掛けなくても利用者が積極的に行い、現在も継続が出来ている。

《給食》

- ◎ 利用者のニーズをつかむ
 - ・ 利用者の健康状態を重視し、1人ひとりに合った食事の提供を実施した。
 - ・ 嗜好調査の実施と利用者との話し合いを行い、利用者の希望を取り入れた食事の提供を行った。
 - ・ 緊急災害対策として備蓄と確認に努めた。
 - ・ 衛生研修を行うことで食中毒の予防意識を高め、厨房内の設備・器具の衛生管理の実施のほか、個々の手洗いの徹底に努めた。

《営繕》

- ◎ 経年に伴う保守管理
 - ・ 施設整備機械等の経年による劣化が見られ、特に居室エアコンについてはガス式から電気エアコンに交換工事を行ったほか、L型擁壁からの土砂流失がみられ緊急工事も実施した。

面 会 状 況 調

H25.4.1～H26.3.31

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
91	152	133	108	161	116	111	105	124	105	136	144	1,486

一日平均 4.1 人

施 設 利 用 状 況 調

H25.4.1～H26.3.31

市町村		事項	青森市	五所川原市	つがる市	弘前市	三沢市	合計	
			前年度末	男	3	0	0	0	
	女	22	0	2	0	1	25		
	計	25	0	2	0	1	28		
本 年 度 中	入所人員	男	1	0	0	0	0	1	
		女	7	1	0	1	0	9	
		計	8	1	0	1	0	10	
	退所人員	男	0	0	0	0	0	0	
		女	5	0	1	0	1	7	
		計	5	0	1	0	1	7	
本 年 度 末	男	4	0	0	0	0	4		
	女	24	1	1	0	0	26		
	計	28	1	1	0	0	30		

利用者介護度

H26. 3. 31現在

非該当	支援 1	支援 2	介護 1	介護 2	介護 3	介護 4	合計
8人	1人	6人	12人	1人	1人	1人	30人

利用者通院・入院・訪問診療受診状況

H25.4.1～H26.3.31

月	区分	男	女	計	月	区分	男	女	計
4	入院	1	0	1	10	入院	0	1	1
	通院	2	53	55		通院	3	47	50
	通院送迎	0	14	14		通院送迎	0	21	21
	往診	0	6	6		往診	0	6	6
5	入院	0	2	2	11	入院	0	2	2
	通院	5	56	61		通院	6	50	56
	通院送迎	0	10	10		通院送迎	0	21	21
	往診	0	6	6		往診	0	6	6
6	入院	0	1	1	12	入院	0	4	4
	通院	4	41	45		通院	5	49	54
	通院送迎	0	19	19		通院送迎	0	18	18
	往診	0	6	6		往診	0	6	6
7	入院	0	2	2	1	入院	0	2	2
	通院	9	55	64		通院	4	44	48
	通院送迎	0	22	22		通院送迎	0	21	21
	往診	0	6	6		往診	0	4	4
8	入院	0	2	2	2	入院	0	0	0
	通院	6	50	56		通院	4	50	54
	通院送迎	0	19	19		通院送迎	0	13	13
	往診	0	6	6		往診	0	4	4
9	入院	0	0	0	3	入院	0	2	2
	通院	5	58	63		通院	1	71	72
	通院送迎	0	20	20		通院送迎	0	15	15
	往診	0	6	6		往診	0	4	4
					計	入院延べ人数	1	18	19
						通院	54	624	678
						通院送迎	0	213	213
						往診	0	66	66

行事実施状況

H25.4.1～H26.3.31

	実施日	場所/時間	参加人数		
			利用者	ボランティア	計
遠足	4月11日	浅虫水族館 9:00～13:20	6	0	6
母の日	5月9日	食堂ホール 11:30～12:25	27	0	27
花見会	5月14日	野木和公園 11:00～13:05	12	0	12
父の日	6月13日	食堂ホール 11:05～12:20	27	0	27
運動会	6月25日	食堂ホール 9:50～12:10	28	0	28
七夕	7月4日	食堂ホール 11:40～12:15	25	1	26
鶴ヶ丘苑夏祭り	7月8日	鶴ヶ丘苑 10:00～13:50	7	0	7
ねぶた観覧	8月2日	青森市役所棧敷席 17:45～21:00	2	0	2
花火大会	8月20日	正面玄関 18:40～19:30	21	0	21
芸術鑑賞	9月5日	田舎館田んぼアート 9:00～13:30	7	1	8
敬老会	9月12日	食堂ホール 11:25～13:15	29	0	29
十五夜	9月19日	娯楽室 夕食後～	23	0	23
収穫祭	10月22日	食堂ホール 11:35～12:35	25	0	25
油川市民センター祭り	10月12・13日	油川市民センター 9:30～16:00	9	0	9
紅葉狩り	10月29日	中野もみじ山 9:00～14:30	8	1	9
焼き芋会	11月7日	正面玄関前 13:10～14:15	15	0	15
ショッピング&食事	11月21日	サンロード青森 11:00～14:00	9	0	9
ゲーム大会	11月19日	食堂ホール 10:10～12:30	25	0	25
クリスマス会	12月24日	食堂ホール 11:00～12:45	26	0	26
餅つき	12月27日	食堂ホール 8:00～11:30	22	1	23
正月行事	1月1～2日	食堂ホール 14:00～	18	0	18
初詣	1月9日	八十八ヶ所・善知鳥神社 10:00～11:30	6	0	6
新年会	1月16日	食堂ホール 11:20～12:30	25	0	25
節分	2月3日	各階居室 10:55～11:20	25	0	25
ひな祭り	3月3日	食堂ホール 11:35～12:30	28	0	28

余暇活動参加状況

平成26年3月31日

・クラブ(手芸 工作 習字 花札 トランプ フラワー教室 カラオケ他)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
男	0	1	1	2	1	0	0	3	1	0	0	4	6.7
女	19	14	32	22	23	4	11	22	20	50	48	51	回数
計	19	15	33	24	24	4	11	25	21	50	48	55	49

・レクリエーション(卓球 ゲートボール 頭の体操他)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
男	0	1	3	1	2	2	2	2	1	0	0	1	8.3
女	46	26	40	16	42	38	22	32	28	30	25	23	回数
計	46	27	43	17	44	40	24	34	29	30	25	24	46

・畑 花 収穫 料理

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
男	0	0	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	4.2
女	2	10	3	16	5	5	18	14	7	0	0	0	回数
計	2	10	6	18	5	5	18	14	7	0	0	0	20

・おやつ作り

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6.3
女	5	5	6	7	6	6	6	8	7	8	8	9	回数
計	5	5	6	7	6	6	6	8	7	8	8	9	12

・茶話会

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
男	8	7	8	16	45	13	7	9	7	7	5	7	9.9
女	56	47	39	78	288	93	44	52	50	64	38	59	回数
計	64	54	47	94	333	106	51	61	57	71	43	66	105

・大相撲

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
男	0	30	0	30	0	30	0	45	0	45	0	45	14.2
女	0	135	0	90	0	135	0	135	0	180	0	165	回数
計	0	165	0	120	0	165	0	180	0	225	0	210	75

・ラジオ体操

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
男	31	37	35	42	58	54	47	52	51	51	47	46	20
女	507	500	470	496	504	476	474	466	473	520	454	462	回数
計	538	537	505	538	562	530	521	518	524	571	501	508	365

・ショッピング

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
男	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	10.8
女	9	7	9	11	9	12	10	8	11	13	12	11	回数
計	9	7	9	11	10	13	11	9	12	14	13	12	12

職 員 研 修 状 況

H25.4.1～H26.3.31

研修主催	研修内容			参加職員	計
	研修名	期 日	日数		
公益社団法人 青森県老人福祉協会	平成25年度社会福祉法人経営セミナー	自 3月13日(木) 至	1	施設長	1

施 設 管 理 実 施 状 況

実施月	実 施 内 容	
4月	昇降機定期点検	害虫駆除
5月	消防設備点検 ※避難訓練	浄化槽清掃 汲み取り
6月	ボイラー点検 LPガス設備点検	害虫駆除 ばい煙検査 受水槽清掃 レジオネラ検査
7月	昇降機定期点検 自動ドア点検	
8月		害虫駆除
9月	LPガス設備点検	車両車検
10月	ボイラー点検 昇降機定期点検 消防設備点検 ※夜間想定避難訓練	ポンプ点検 害虫駆除
11月		浄化槽清掃 汲み取り 浄化槽法定検査
12月	LPガス設備点検	水質検査 レジオネラ検査 ばい煙検査 害虫駆除
1月	昇降機定期点検 自動ドア点検	
2月		害虫駆除
3月	LPガス設備点検 浄化槽ポンプ交換	1階・階段特別清掃 水質検査

※ 毎月実施・・・電気設備点検、浄化槽保守点検

平成25年度慰問・寄贈品の状況

H25.4.1～H26.3.31

月 日	住 所	ご 芳 名	慰問・奉仕・寄贈品
-	-	-	-